

5Gサービス

米AT&T、世界初のデータ通信強化オプション「AT&T Turbo」を提供開始

提供価値

- オプションを有効化することで、顧客が外出中も強化されたデータ通信を利用可能
- 特にゲーム、動画配信、ビデオ会議などの利用時に理想的

対象

- 上位無制限プラン加入者（現行プランの上位2プラン、旧プランの最上位プラン）

料金

- 月額7ドル

適用範囲

- 契約プランに応じて強化されたデータ通信が適用される容量が異なる
- 例：現行の最上位プランでは無制限のデータ通信、60GBのテザリングに適用、その下位のプランでは75GBのデータ通信、30GBのテザリングに適用

利用方法

- myAT&Tアプリまたはオンラインで追加
- 有効化したい未来の日付の設定も可能

利用技術

- QoS Class Identifier (QCI)
- [報道](#)によると公共安全専用網FirstNetのQCI6に次ぐ優先度のQCI7を利用

AT&Tは、継続してAT&T Turboを進化させていくと述べている。

下線部分のリンクを開くと、外部サイトの出典、参考記事が表示されます

5Gサービス

Taylor Swiftのコンサートでの優先接続オプションが5G収益化の代表例とEricsson幹部が説明

Ericssonのクラウド・ソフトウェア&サービス担当VPは、Taylor Swiftの最近のツアーは、革新的な5G収益化戦略の代表例であるとし、シンガポールSingtelの「Event 5G Express Pass」の成功は、ネットワークの保証に料金を支払う意欲を示す例だと述べた。

[Singtel Event 5G Express Pass概要](#)

提供価値

- イベント会場でのネットワーク混雑時に他のSingtelユーザよりも高速なデータ通信を利用できる
- 用途：現地での友人との連絡、SNSでの体験共有、ライドシェア乗車予約など

対象

- 対象のポストペイド5Gプラン契約者

料金

- 7SGD(約800円)※イベントにより変動

利用方法

- イベント1週間前など事前申込受付中に申込むと、現地でも有効化できる

利用技術

- [ネットワークスライシング](#)



Copyright(C) 2024 KDDI Research, Inc. All Rights Reserved.

APIを通じたNW機能提供

独O2 Telefonica、AWSクラウドにNokia製の5Gコアを展開

O2は、既存のネットワークを持つ通信事業者として初めて、AWS上で5Gコアを稼働させたと主張している。

同コアへの移行は、まず約100万人の5G顧客を対象とする。その後、1-2四半期稼働を確認した後、[2025-2026年に顧客の少なくとも30~40%を移行させるロードマップ](#)を掲げたいと、ロイターの取材に対してO2は説明した。O2は現在約4500万人の携帯電話ユーザを持つ。

O2幹部は、新しい5Gコアによって、従来のアーキテクチャから脱却し、最新の、高性能で効率的なネットワーク技術に焦点を当て、お客様に優れた体験と新しいデジタル・アプリケーションを提供すると述べている。また、同社は、コアネットワークはモバイルネットワークの中心部分であるとして、セキュリティ、品質、データ保護の基準を設定する包括的なクラウド・セキュリティ・フレームワークを開発し、使用中のデータおよびビジネスロジックを暗号化する機密コンピューティングと追加の暗号化メカニズムを使用すると述べた。

AWS幹部は、通信事業者のワークロードを実行することをビジネスにしたいと考えており、今後12ヶ月の間に他の通信事業者とより多くの契約を期待していると述べた。これまで、米DishがAWSクラウド上で5Gコアを運用している。

P.1

ネットワークスライシング

米Verizon、ニュートラルホストNWとプライベート5Gの組み合わせを初提供

Verizonは、カミンズ社がニュートラル・ホスト・ネットワーク（NHN）製品の初の顧客となったと発表した。プライベート5GとNHNの組み合わせで、工場内外の200万平方フィート（約18万平方メートル）の空間、1500人の従業員にモバイル接続を提供する。

NHNは、参加に同意した通信事業者の公衆網と連携可能で、これにより、従業員や一般のユーザーは対象の敷地内で専用インフラにより強化された通信を利用可能となる。今回は、**VerizonがNHN導入の技術的リード**を務め、エンジニアリング、実装、設備、機器の継続的な保守と品質確保を担当する。**公衆網の電波をNHNで強化し、セキュリティや重要な通信を必要とする業務はプライベート5G経由**で行う。プライベート5Gは、ミリ波とCバンド（3.7GHz）を用いており、ユースケースとして資材ハンドリングや運搬のための産業車両やロボット、遠隔作業員の支援やコラボレーションのためのAR/VR、欠陥検出のための生産ラインのマシンビジョン、機械のヘルスマonitoringのための各種センサー、現場作業の安全確保のためのアプリケーションが想定されている。Verizon幹部は、本ソリューションは、全ての通信基盤をカバーし、効率的なアーキテクチャにより、費用対効果が高く、保守が容易で、運用の拡大や進化に合わせた追加も容易と述べている。

下線部分のリンクを開くと、外部サイトの出典、参考記事が表示されます

エッジコンピューティング、NWスライシング

米Tesla、ベルリンの製造工場にプライベート5Gを導入。世界中の工場に展開予定

Teslaは、X(旧Twitter)に1分強の動画を投稿し、ドイツのベルリンの製造工場にプライベート5Gを導入したと説明した。

同社は、プライベート5Gは製造工場における技術革新と次世代オペレーションの基盤を築くと説明し、屋内外での用途を以下の通り説明した。

工場内

モバイルマシンの通信が高信頼なものとなり、常に稼働し続けることが可能となった。



屋外

従来は光ファイバーや電力ケーブルの敷設が必要だったが、小さなアンテナで駐車スペースをカバーし、数百台の車のソフトウェアアップデートやロジスティクス業務の遂行が可能となった。



6G

韓KT、Nokiaと6Gの研究で協力

両社は、6GにおけるOpen RAN技術と6Gの候補周波数を利用した超広帯域無線アクセス技術などの開発で協力し、6Gにより可能となる未来のサービスの発掘、インフラの革新を目指す。

KTは、今回の提携の目的は、6Gの標準策定と商用化においてグローバルリーダーシップを確保することであると述べている。

KT幹部は、「KTは今回の提携を通じて、未来のクラウドとAIに直結した移動通信技術開発をリードできることを期待している」と述べ、Nokia幹部は、「6Gのコア技術とAIの融合、Open RANなどの次世代通信方式に対する共同研究を通じて、KTとNokiaの技術優位性を確保できると期待している」と述べた。

KTによる6G関連の提携事例には、2023年10月のLG電子とCorningとの6Gの各周波数候補帯域で動作するRIS*の共同開発と検証の取り組みがある。

*Reconfigurable Intelligent Surface

6Gは、現在、グローバル技術標準団体であるITUと3GPPで周波数、ビジョン、フレームワークの策定作業が進められている。3GPPは最近6Gの標準規格(Release 21)を2029年内に完成することを決定した。